

## 2 集落に出没するサルを追い払う

### 追い払い みんなでサルを山へ追い払う

- 【実施のポイント】 ● どんな追い払い道具を使う場合でも、サルに一步接近して「人は怖い」と認識させる。  
● 集落内でサルを見かけたら、だれでも、いつでも、追い払う。



電動ガン

プラスチック製の弾を発射してサルを追い払う。



スリングショット

競技用のパチンコ。石や鉄球を飛ばして追い払う。



ロケット花火

サルに向けて発射し、音で追い払う。風向きを考慮して使う。

※道具を使った追い払いは、安全に十分注意して行いましょう。

！こんなことはありませんか？

#### 『田んぼの二番穂を食べていたが、追い払わなかった』

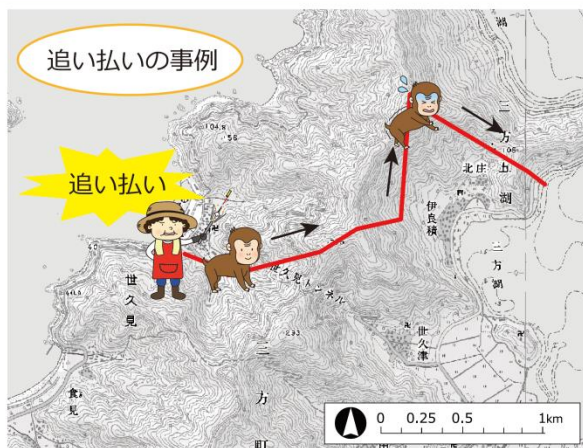
集落内でサルが自由な行動を放置すると、サルに「集落には食べ物があるし、人も怖くない」と認識されてしまいます。人にとって必要のないものを食べていても、サルを見かけた際は、必ず追い払うようにしましょう。



二番穂を食べるサル

### 追い払いは、周辺の集落で協力して実施！

- 同じサルの群れが出没する集落では、協力して追い払いをしましょう。
- 集落間が協力することで、サルの群れが人を怖がるようになり、集落へ寄り付かなくなります。



発信器をつけたサルの追跡では、追い払いによって、行動範囲を変え、集落から離れていく様子が確認されています。



追い払い研修会

#### 相談・お問い合わせ

##### 《侵入防止柵を設置したい・悪質なサルが出て困っている》

- お住まいの市町の役場（鳥獣被害担当部局）
- 各農林総合事務所（農業経営支援部）
- 嶺南振興局農業経営支援部（小浜）、二州農林部（敦賀）

##### 《本資料に関するお問い合わせ先》

- 福井県農林水産部地域農業課
- 住所：〒910-8580 福井県福井市大手3丁目17番1号
- 電話番号：0776-20-0414

発行：福井県 2017年3月発行（21500）

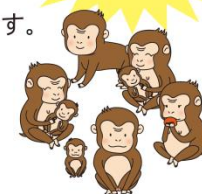
# サルを集落から追いだそう！ 地域で取り組むサル対策！

サルの特徴や、サル被害が発生する原因を知って、地域の状況にあった対策を進めましょう。

## サルってどんな動物なの？

- 群れで生活**
  - メスザルを中心とした10～100頭ほどの群れで生活します。
  - オスは、4～6歳ぐらいの間に群れから離れて暮らします。
  - メスザルを捕獲すると、群れが複数に分裂することがあります。
- 食べるもの**
  - 植物が主食ですが、キノコや昆虫も食べる雑食性です。
  - 何を食べるかは、生まれてから少しずつ覚えます。
- 行動の特徴**
  - 最大100km<sup>2</sup>程度の範囲を移動するため、複数の集落に出没します。
  - 農作物に依存する群れほど、農地付近に長く滞在します。

群れで行動するため、一度の出没で大きな被害を受けます



### ◎農作物を食べるサルは増えやすい！

山のものしか食べないサル	栄養：並	農作物を食べるサル	栄養：良
● 初産年齢：6～7歳程度		● 初産年齢：4～5歳程度	
● 出産間隔：2～3年		● 出産間隔：1～2年	

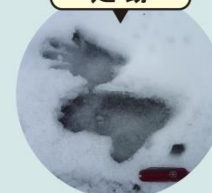


3～7月頃に出産

## サルの痕跡

痕跡からは、サルが「いつ」「どこに」出没したのがわかります。出没の時期と場所を把握して、対策に役立てましょう。

### 足跡



5本の指がはっきり残る。

### フン



食べもので形が変わる。

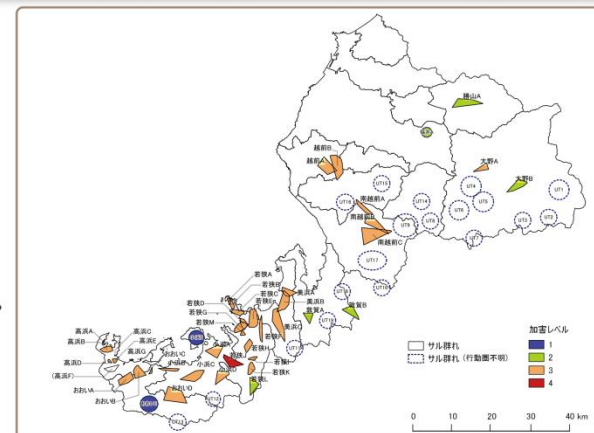
### 食べ跡



少しかじるだけで、食い散らかしたりする。

## 福井県におけるサルの生息状況

- 福井県内には、63群れ、約4,400頭のサルが生息しています(平成24・25年度調査)。
- 群れの行動範囲外でも、ハナレザルや小集団(10頭以下)が出没して被害が発生させることがあります。
- 福井県における、平成27年のサルによる農作物の被害額は、約259万円となっています。



## サル対策の考え方

### 『みんなで協力してサルを集落に依存させない』

サル対策は、サルに「集落に近寄りたくない…」と思わせることが大切です。集落に出没している群れの習性を知り、みんなで相談・協力して対策を進めましょう。

サルによる被害を防ぐには、以下の対策を組み合わせる実施することが重要です。

- |                  |             |                                   |
|------------------|-------------|-----------------------------------|
| 1 集落内をサルの餌場にしない  | 環境整備        | ▶ 餌になるものを除去して、サルが集落へ近づく原因をなくす。    |
|                  | 侵入防止柵の設置、点検 | ▶ サルに餌を与えないために、柵をしっかりと設置し、点検する。   |
| 2 集落に出没するサルを追い払う | 追い払い        | ▶ サルに一歩でも近づいて追い払い、この集落の人は怖いと思わせる。 |

※集落内に入り込んで被害を出す悪質なサルについては、捕獲についても検討が必要です。



## 集落内のサルの様子を確認しましょう

集落内のサルの様子を確認して、対策方法を検討しましょう。

### Q1 どんなサルが出没していますか？

- 数十頭の群れで、メスザルや子ザルがいる
- 数頭の群れで、子ザルがいない
- 1頭だけで出没する

#### ◎群れの場合

- ・サルがよく出没する場所については、出没する要因を確認しましょう。
- ・周辺の集落とも協力して、対策を進めましょう。

### Q2 集落内のサルの行動は？

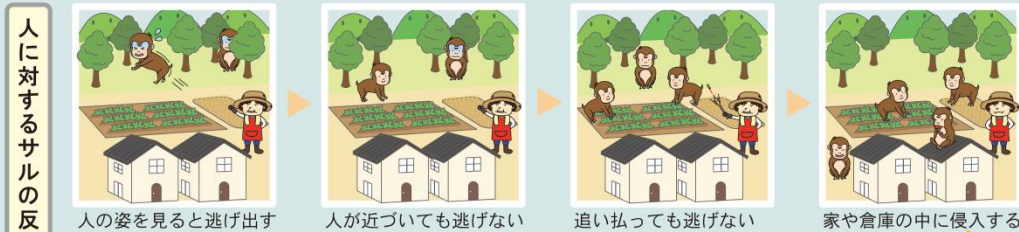
- 集落内に出没する
- カキなどの果樹を食べる
- 人の姿を見ると逃げ出す
- 人が近づいても逃げない
- 追い払っても逃げない
- 家や倉庫の中に侵入する

#### ◎人を怖がるサルの場合

- ・集落に居着かせないため、早めの対策が効果的です。まずは勉強会からはじめましょう。

#### ◎人を怖がらないサルの場合

- ・より強固に、より徹底して集落で声をかけ合って協力して対策しましょう。



人に対するサルの反応

サルの人慣れが進むにつれて、被害は拡大します

## サル対策の方法

### 1 集落内をサルの餌場にしない

#### 環境整備 ▶ サルが集落へ近づく原因をなくす

- 【実施のポイント】
- 果樹や放置生ゴミなどのサルの餌になるものを除去する。
  - サルを見つけやすいように、集落周辺の林を間伐して見通しをよくする。



未収穫の果樹や放置生ゴミの除去

収穫しない果樹や放置生ゴミは、サルに食べられないよう除去する。



集落周辺の間伐

サルを見つけやすいように、見通しよく間伐する。



二番穂の除去

二番穂は、サルの餌になるため、秋起こしなどをする。

！こんなことはありませんか？

#### 『いつも収穫しないカキの木で、サルがカキを食べていた』

未収穫の果樹も、サルを集落に誘引する原因になります。低く剪定するか、誰も利用していない、切ってもよい果樹は、伐採するなどして少しでもサルの餌を減らしましょう。



低く剪定したカキの木

#### 侵入防止柵の設置、点検 ▶ 柵で農作物をしっかり守る

- 【実施のポイント】
- 支柱にも電気が流れる電気柵や、上部まで覆ったネット柵を設置する。
  - 侵入防止柵の設置後は、柵の下や繋ぎ目などにすき間ができていないか点検する。



支柱にも電気を流すと効果的

金網+電気柵

柵の下部が金網柵、上部が電気柵になっている複合柵。



電気柵（ネットタイプ）

通電性のネットを使用。サルの被害が大きい場所でおすすめ。



＋点検！

電気が流れているか定期的に点検し、電気柵の効果を十分に発揮させましょう！

！こんなことはありませんか？

#### 『柵を設置してもサル被害がなくなる』

柵にすき間があるかもしれません。定期的に点検をしてすき間（約5cm以上）を作らないようにしましょう。柵の近くに立木や電柱があると、登ってジャンプして侵入するため、木や電柱から柵を離して設置しましょう。